

ぱおぱお



会員数	2025.9.11現在
依頼会員	846名
提供会員	174名
両方会員	31名
計	1,051名

鈴鹿市ファミリー・サポート・センターのホームページもご活用ください。

<http://www.mecha.ne.jp/~suzu-fsc/>
スマートフォン版もあります



(特)こどもサポート鈴鹿

Instagram はじめました!

様々な体験活動等の情報を
載せています

フォローお願いします /



@kodomo_support_suzuka

2歳の子どものために、大人は巨人!

身長だけでなく大人の体の厚みや声の大きさから、子どもは大人を8倍もの大きさにも感じると言われます。その巨人の様な私たち大人が目の子どもの目に話をする時の声の大きさ、一緒に歩く時のスピード、ご飯を食べる時の食器の大きさや提供する量などなど、私たち大人は子どもの視点を大切に、子どもの本当の姿を理解しているでしょうか。

これは最近知った「こどもの視点ラボ・電通」からの情報です。子どもの視力や見え方、子どもの味覚や食べる量など、6月開催のファミリー・サポート・センター提供会員養成講座の中でも学んだ私ですが、改めて子育て時の自分の姿を思い出し、苦笑いするやらギョッとするやらでした。

「もっと速く歩いて、遅いよ。」「残さず全部食べて。」(TVの前に近づく子どもに)「眼が悪くなるから後ろに下がって。」「お母さんの言うことをお聞きなさい!」など。仁王立ちになって諭したり、叫んでいた姿が思い出されます。

この体験から、私を含め、大人は子どものことを理解しているだろうかと改めて考えさせられました。大人の話し声を、「もっと小さな声で話して」と思っているかもしれない。気持ちを話してご覧なさいと言われても、仁王立ちで大きな声で話すママに「胸がドキドキして話せない」と感じているかもしれない。子どもは、ママに「遅いよ、速く歩いて」って言われても、「頑張って歩いてるけどママに追いつけない。ごめんなさい。」と心で泣いているかもしれない。

私たち大人は全然あなたたち子どもを理解していないね。ごめんね。

子どもの声を聴こう!子どもの存在をそのまま尊重しよう!子どもに関わる中で、私たち大人はそこに居るだけで子どもに圧をかけている存在なのだと自覚しよう!

「子どもの視点」を知る機会を得て、子どもを理解することで、子どもと大人の間に優しい空気や笑顔の時間が増えるのではないかと思います。そして、その視点はこの世を生きる人すべてを大切にすることに通じると思いました。

令和7年度 第1回提供会員養成講座（6月開催しました）

提供会員養成講座は、援助をするときに必要な子どもの安全面、健康面、発達面などの知識や緊急時の対処法などを学びます。年に2回（6月・11月）開催しています。6月は、9名の提供会員の登録がありました。ファミリー・サポート・センターは、提供会員・両方会員のみさんによって支えられています。

ファミリー・サポート・センターの活動に興味のある方は、ぜひご参加ください。

受講者の 振り返り

◆子どもの栄養

食べることは生きる力ということを改めて感じました。

食物アレルギーについてや子どもの生きる力や心を育てる食習慣、食育など詳しく学ぶことができて良かったです。また、伝統料理や行事食の大切さも伝えていけたらと思いました。

◆子どもの遊びと生活

「揺れ動く」何気ない日常の中にも、お金や特別なものがなくても遊びは生み出せるのだ！と興味深く聞かせていただきました。

小さい頃おでかけ難民で、いろんなところに連れて行ってあげられなかったなあと思っていましたが、家の中で踊ってみたり工作したり、変な替え歌をつくって歌ってみたり…あれはあれで良かったんだと気づかされ救われました。

◆子どもの発達とこころ

安心安全が大事なことで、こどもの心を守ると同時に自分を守ることもつながるなと思いました。私の子育ての時に先生のお話を聴いたら、もう少し上手に子育てできたのでは…と思います。

支援者、母親としてだけでなく、自分自身の怒りのコントロール術を学ぶことができました。

そういえば、最近こどもに怒っていることが多かったわ…と反省しつつ、今日からまた頑張ろうという気になりました。



0歳の子どもの提供会員の方に託児をお願いして、養成講座を受講することができました。提供会員の方があたたかく迎えてくださって、にこやかとした雰囲気の中で子どもの月齢に合わせた遊びを、安全な空間の中で関わって頂きました。私も安心して講座を学ぶことができました。託児後、ファミリー・サポート・センターという事業があることで地域での支え合いができていけると強く感じることができ、私自身もまた前向きに子どもに関わっていこうと思いました。（M.S）

提供会員交流会（活動中の防災について）

7月16日（水）提供会員交流会「活動中の防災について」を、防災士の前畑さんにお越しいただき開催しました。

前畑さんの説明の後、グループに分かれて話し合いました。いろいろな対策案が出てお互いに勉強になることがたくさんありました。いつ何処で起こるかかわからない地震やゲリラ豪雨。ファミリー・サポート・センターとしても非常時に備え、伝言ダイヤルやSNSの活用方法など、確認や検討する機会となりました。

受講後、提供会員からも次のコメントがありました。



・実際に防災リュックを見せて頂いて、大変、参考になりました。災害は地震だけではないことも知って、防災についての心がけを常におかねばと思いました。

・最近、天災・事故のニュースが多く危機感を感じていたところでした。改めて、防災の知識、備えの必要性を認識しました。あらゆる想像力を駆使して、備えておくのが大切だと感じました。家族で一度、話し合わねばと思いました。



◆提供会員スキルアップ（交通安全講習）は、9月17日（水）に開催しました。

提供会員は、活動終了後、活動の様子を記録した「活動記録票」を依頼会員にお渡ししています。
たくさんの記録票のなかから、提供会員Sさんの活動をご紹介します。

◆母仕事の為、5才の男の子を提供会員宅預かり

時間	事項	預かりの様子
17:45	送迎	保育園お迎え後、預かり
	遊び	ブラレールなどで遊んでいました。
19:00	夕食	ホットケーキ、コーンバター、きゅうり、オレンジジュース
19:30	遊び	ブラレール、ロボット工作、You tubeで遊びました。 ペットボトルとペットボトルのフタを使って、ロボットを作っていました。
21:15	お迎え	活動終了



保育園に迎えに行き、Rくんの大好きなホットケーキ、きゅうりなど夕食と一緒に食べて、お母さんのお仕事が終わるまで預かりをしています。Rくんは笑顔がかわいく、今日あった出来事や自分の経験談を話してくれて、感想を言い合ったりして楽しい時間を一緒に過ごしています。

ファミリー・サポート・センターで関わる子どもは、どの子もかわいく、愛をもって大切に対応しています。これからも依頼会員のサポートをできれば嬉しいです。
(提供会員Sさん)

私はシングルマザーです。

祖父母も近くにはおらず、1人での育児には限界を感じていました。不安もありながら、思い切ってファミリー・サポート・センターを利用してみることにしました。

最初は「知らない人に、子どもは緊張しないかな…」などと心配していました。でも、そんな不安とは裏腹に、提供会員の皆さんはとても優しく接してくださり、子どもは毎回楽しそうに過ごしています。

「次のファミサポはいつ？」と子どもから聞かれるほどです。私自身も助けてもらうことで、心に余裕が生まれ、子どもと笑える時間が増えた気がします。

いろんな人の手が加わって育つことで、子どもも少しずつ「人のあたたかさ」を知っていきっているように感じます。「誰かに頼っていいんだ」って、私自身が教えられた気がします。育児は一人で抱え込むにはあまりにも大変なことが多いですし、支え合いながら過ごすことで、親子ともに心の余裕が生まれるのだと思います。

ファミサポ提供会員の方たちには感謝でいっぱいです。
(依頼会員Hさん)

私自身、実家が遠く、仕事しながらの子育てでした。

子どもの習い事の送迎や、預かりを手伝ってもらえたら、とても助かるなという体験から、お手伝いできたらと思い提供会員に登録しました。

「緊急救命講習」及び「虐待防止に関わる講習」について

緊急救命講習及び事故防止に関する講習について、援助を行う会員全員に対して、5年に1回の実施が必須となっています。

さらに、令和7年度より、「虐待防止に関わる講習」についても5年に1回の講習が必須となりました。現在、活動していただいている提供会員さん、両会員さんも2025年4月～2030年3月の間に提供会員養成講座にて、受講してください。

令和7年度 第2回 提供会員養成講座のお知らせ

11/5 (水)	子どもの権利 提供会員の役割と心得 子どもの遊びと生活
11/6 (木)	虐待と社会的養護 子どもの栄養
11/7 (金)	子どもの病氣 小児看護
11/12 (水)	気になる子どもの支援 子どもの発達とこころ
11/13 (木)	子どもの安全と対応 子育て支援の必要性 登録について 養成講座のまとめ

会場：ジェフリーすずか

鈴鹿市ファミリー・サポート・センターのしくみ



※提供会員とお預かりする子どもさんにはセンターとして「サービス提供会員傷害保険、依頼子供傷害保険」に加入しています。(会員の負担はありません)

依頼会員登録について

- 市内に在住または通勤・通学し、おおむね小学生以下のお子さんをお持ちの方
- 登録に来られる前には必ずお電話下さい。
- 会員登録(無料)に必要なもの
 - ・健康保険証(子ども)
 - ・登録者の写真2枚(縦3cm×2.5cm)

利用料金

	7:00～19:00	19:00～7:00
通常の利用 (前日までの依頼受付)	700円/時間	800円/時間
緊急時の利用 (当日又は時間外の依頼受付)	1,000円/時間	1,200円/時間

- ・年末年始(12/29～1/3)の利用
12/28までの時間内受付 1,000円/時間
12/29～1/3の受付 1,200円/時間
- ・宿泊の利用
22:00～翌6:00(連続8時間) 1回 5,000円

※受付は月～金曜日の8:30～19:00です。これ以外の時間帯に受け付けた依頼は「緊急時の利用」扱いとなります。

【お問い合わせ先】

鈴鹿市ファミリー・サポート・センター

〔特定非営利活動法人こどもサポート鈴鹿内〕

受付/月曜日～金曜日 8:30～19:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始はお休み)

TEL&FAX 059-381-1171

〒513-0817 鈴鹿市桜島町六丁目20-3
<http://www.mecha.ne.jp/~suzu-fsc>

